

松本潤一郎 まつもと じゆんいちろう 社會學者、文學博士。明治二十六年七月（二十）  
白子葉縣生れ、昭和二十二年六月十一日歿（一九三二—一九四七）。大正七年  
東京帝國大學文科大學哲學科卒。『大阪毎日新聞』記者、法政大學教  
授を経て、昭和二十五年東京高等師範學校教授。

著書 『學徒官言』（合著・白井喜文介編、昭和十八年一月—二十日京都  
・白井書房）、『戰時文化政策論』（昭和二十一年一月—二十日文松堂出版  
株式會社）等。『松本潤一郎追憶』（昭和二十八年六月十日神奈川・  
松本達治編刊）刊。